

## 1 研究主題

英語を使って自ら人と関わろうとする児童の育成  
～英語好きな児童を育成する英語科指導の工夫～

## 2 主題設定の理由

### (1) 社会の要請から

技術の急速な進歩により、社会や経済のグローバル化が急速に進展している。それに伴い、知的財産や技術、人材をめぐる国際競争が過熱している。一方で、異なる文化の理解や、国家・民族との共生、協力も求められている。これらの社会の変遷を受け、学校教育においても外国語教育を充実させることが、重要な課題の一つとなっている。

学習指導要領では、外国語活動の目標について、以下のように示している。

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

これらを踏まえ、小学校段階で外国語に触れたり、体験したりする機会を児童に与えることにより、中・高等学校において、円滑な英語学習を進めていくための素地を育成し、コミュニケーション能力を育成することが求められている。

### (2) 学校教育目標から

山梨小学校教育目標

心豊かで 創造的な山梨っ子  
～わくわく登校 いきいき学び にこにこ下校する姿を目指して～

本校では、生きて働く学力を身につけ、主体的に学ぶ健康でたくましい児童を育成し、英語科学習を通じたコミュニケーション能力の育成を図ることを目指している。児童一人一人が意欲的に学習に取り組み、英語を活用し、慣れ親しむことが、いきいき学ぶことにつながると考える。そのためには、英語活動において外国の文化や言語に興味を持てるような授業改善、環境整備を行っていききたいと考える。

### (3) 児童の実態から

本校児童は素直で、友達や教師と進んで関わろうとする児童が多い。また、四街道自然同好会を始め、防犯パトロール隊、食と緑の会など、地域の様々な方々と連携して行う学習の場が多く、学校以外の人とコミュニケーションを取る機会に恵まれている。学習に対する意欲や、基礎的な学力が身につけている児童も比較的多い。課題としては、個人差が大きく自己表現ができる児童に偏りがあること、集中できる教科とそうでない教科に差があることが挙げられる。英語を話したいという意欲は高いが、日常での活用場面が少なく、授業の中だけの英語にとどまりがちな現状がある。

本校は平成29年12月より、文部科学省の教育課程特例校の指定を受け、平成30年度・31年度は四街道市の英語教育推進モデル校となった。平成30年度より、高学年は週2時間、低・中学年は週1時間の英語科が必修となっている。これを受けて、英語科の授業やALTとの連携等、指導方法や形態を充実させていく必要がある。どの学級担任も自信をもって指導に当たれるよう、学校全体で英語科指導に取り組んでいく。

本校の英語科学習のねらいは、コミュニケーションツールとしての英語を身に付け、英語を使って自ら人と関わろうとする児童の育成にある。このねらいを達成するためには、教師の英語の指導力の向上や、授業展開の工夫、教室環境・校内環境の整備が必要である。また本研究を通して英語好きな児童を育成すること

がねらいの達成につながると同時に、英語を使って世界の人々とつながっていかうとする意欲を育んでいきたいと考え、本主題を設定した。

### 3 研究の目標

目指す児童像

- ①英語で話そうとする意欲を持った児童
- ②コミュニケーションの技能を身に付けた児童
- ③英語への興味・関心をもった児童

### 4 研究の仮説

仮説 1

英語科授業の中で、児童が自ら会話するような指導過程を工夫すれば、意欲的に英語を使ったコミュニケーションが取れるようになるだろう。

(手立て)

- ・どんな場面で使う英語なのか、状況設定を明確にする。
- ・変化のある繰り返しによる発話練習をする。
- ・児童が楽しんで取り組めるアクティビティを行う。

仮説 2

児童の日常生活に関連した英語環境を整えれば、英語を使おうとする意欲が向上し、コミュニケーションを図ろうとする態度が育つだろう。

(手立て)

- ・グリーティングで使える Emotions と Weather の掲示をする。
- ・学習の見通しが持てる掲示をする。
- ・英語のたてわり集会（じゃんけん列車、自己紹介ゲーム、歌等）を実施し、遊びを通して英語を使ったコミュニケーションを図るようにする。

※授業研修会や日常の実践を通じ、手立ては常に検討していく。

### 5 研究の方法・内容

(1) 研究の具体的な取組

月	日	曜	内容	形態
5	10	木	学力向上・研究推進委員会	委員会
	17	木	研究の方向性検討	全体
	24	木	模擬授業研修会	全体
	28	月	英語科研究授業の展開学級決定、模擬授業研修会（4年）、現在行っている英語科学習の現状と課題報告	全体
6	7	木	めざす児童像検討	全体
	12	火	英語科研修会（講師：北総教育事務所指導主事 齋藤智子先生）	講義
	14	木	模擬授業研修会分担確認、めざす児童像・手立て検討	全体
	21	木	模擬授業研修会（1年）、めざす児童像・手立て検討	全体
	28	木	模擬授業研修会（2年）、指導案形式・環境検討	全体

7	5	木	模擬授業研修会 (3年), 教室環境作成	全体
	12	木	模擬授業研修会 (4年), 教室環境作成	全体
	19	木	1学期末英語科アンケート実施	全体
	27	金	英語環境整備資料作成, 特別支援教育研究授業指導案作成	全体
8	21	火	ALT 派遣英語科研修会 (講師: 市 ALT 清田真理先生)	全体
	27	月	市主催英語教育推進モデル校研修会 (9:00~, 会場校)	市教委
9	6	木	第1回英語科研究授業指導案作成	個人
10	4	木	第1回英語科研究授業指導案検討①, 模擬授業研修会 (4年)	全体
	11	木	第1回英語科研究授業指導案検討②, 模擬授業研修会 (5年)	全体
	18	木	第1回英語科研究授業指導案製本・授業準備・環境整備	全体
	23	火	第1回英語科校内授業研修会 (4年・5年) (講師: 北総教育事務所指導主事 齋藤智子先生)	授業研
	29	月	第2回英語科研究授業指導案作成	個人
11	1	木	第2回英語科研究授業指導案検討①, 模擬授業研修会 (3年)	全体
	8	木	第2回英語科研究授業指導案検討②, 模擬授業研修会 (6年)	全体
	15	木	第2回英語科研究授業指導案製本・授業準備・環境整備	全体
	20	火	第2回英語科校内授業研修会 (3年・6年)・ 第五部会外国語研究部研修会 (講師: 北総教育事務所指導主事 齋藤智子先生)	授業研
	22	木	第3回英語科研究授業指導案作成	個人
	29	木	研究のまとめ作成分担	全体
12	6	木	第3回英語科研究授業指導案検討①, 模擬授業研修会 (1年)	全体
	17	月	2学期末英語科アンケート実施	全体
1	10	木	第3回英語科研究授業指導案検討②, 模擬授業研修会 (2年)	全体
	17	木	第3回英語科研究授業指導案製本	全体
	24	木	第3回英語科研究授業音楽科研究授業・授業準備・環境整備	全体
	29	火	第3回英語科校内授業研修会 (講師: 成田市立成田中学校長 日暮美智子先生)	授業研
2	7	木	学力向上・研究推進委員会 (30年度の研修の成果と課題について)	委員会
	21	木	学力向上・研究推進委員会 (次年度の研修について)	委員会
3	11	月	3学期末英語科アンケート実施	全体

## (2) 研究組織

校長—教頭—研究推進委員会 (校長, 教頭, 教務主任 [金親], 研究主任 [戸田])

┆ 研究計画, 研究の概要の検討

┆ 資料部 (○松田, 島谷, 小島, 平井)

┆ 指導案の保存

┆ 教材の整備

┆ 環境部 (○松下, 熊谷, 山田)

・教室環境の提案, 作成

・学校環境の提案, 整備

6 研究の実践

1 学年「色・数・くだもの・動物」

(1) 研究の実際

①本時の目標

積極的に動物やくだものを使ってクイズを作り、尋ねたり、答えたりし、進んでコミュニケーションを楽しもうとする。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

②本時の展開

過程 (時配)	主な活動	・指導・支援 ● J T E ○評価	資料
Greeting (7)	1 あいさつをする。 ・あいさつ, 天気, 曜日を確認する。 ・『B I N G O』の歌を歌う。	・児童に気持ちよくいつものあいさつをし楽しい雰囲気を作る。 ●H R Tとともにあいさつをする。 ・天気や曜日は全体で確認を行い, 自信をもって言えるようにする。	C D
Today's goal (2)	2 本時の学習課題をつかむ。 英語をつかって, 動物や果物のクイズをつくろう!		
Practice (7)	3 動物やくだもの言い方を絵カードやメトロラーニングを用いて練習する。 ・What is this ? ・It's (a/an くだもの・動物) ・What color is this ?	・既習の表現をリズムに合わせ, テンポよく, 繰り返し練習させる。 ・全体, グループ, 個人と形態を変えて発話させる。 ●正しい発音を聞かせて, はっきりと発音できるようにさせる。	メトロラーニング 絵カード
Activity (15)	4 動物やくだもの名前を当てるクイズをつくり, 出題し合う。 What is this ? Hint, please. ① It's(a/an fruit or animal) ② It's (color.) ③ 窓を開け, カードの一部を見せる。 ・It's ~. ・Yes, That's right.・No, Sorry	・J T Eとデモンストレーションする。 ・クイズをグループ内で出し合い, クイズの内容や出し方の練習をさせてから, 自由に相手を見つけクイズを出し合うようにさせる。 ○積極的にクイズを出したり, 答えたりして, ゲームを楽しんでいる。 (コ・行動観察)	絵カード
Review (5)	5 学習したことを復習する。 ・代表児童数名がクイズを出しみんなで答える。	・本時のねらいを確認し, よかったところを称賛する。	練習用紙
Writing (5)	6 アルファベットを書く。	・筆順に気を付けて丁寧に書かせる。	
Reflection (3)	7 振り返りを行う。	・リフレクションシートに本時の取り組みについての感想を書かせる。	リフレクションシート

(2) 仮説の検証 (考察)

【成果】

- 学習した動物やくだものを使ったクイズを出し合うことで, 積極的に会話することができた。
- リズムにのせて身体表現をしながらの発話練習が効果的であった。

【課題】

- クイズの出題方法は尋ねる活動に重きを置いた方が, 相互会話が弾むのではないか。
- 児童の能力差に応じた Activity や Activity での手立てについて, さらに研修を進めていきたい。

2 学年「やさい（2）」

(1) 研究の実際

①本時の目標

積極的に野菜の名前を聞いたり答えたり、好きな野菜嫌いな野菜を言ったりして、コミュニケーションを楽しもうとする。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

②本時の展開

過程 (時配)	主な活動	・指導, 支援 ●ALT ○評価	資料
Greeting (5)	1 あいさつをする。 ・あいさつ, 天気, 日付, 曜日の確認をする。	・児童に気持ちよくいつものあいさつをし, 雰囲気を作る。 ●HRTと共にあいさつをする。	
Review (5)	2 野菜の名前を確認する。 ・フラッシュカード, メトロラーニングを用いて復習をする。	・前時までに学習した英語での表現をメトロラーニングを使い練習する。 ●口の形をデモンストレーションする。	フラッシュカード, メトロラーニング, プレットTV
Today's goal (2)	好きな野菜嫌いな野菜を尋ねたり答えたりできるようにしよう。		
Practice (5)	4 聞き方答え方の練習をする。 ・HRTとALTのデモンストレーションを見て, フレーズをつかむ。 ・HRTとALTと練習をする。	・ALT, HRTとデモンストレーションする。 ・教師対児童のQ&A形式で, 言い方を確認する。	フラッシュカード 野菜カード (5 班分)
	・HRT Do you like (野菜)? Yes I do. I like (野菜). ●ALT Do you like (野菜)? No I don't. I don't like (野菜).		
Activity (12) (6)	5 アクティビティを行う。 Card Game. (神経衰弱) ①First Game (カード合わせ) ②Second Game (カード選び)	・活動の仕方を説明しデモンストレーションする。 ○積極的に野菜の名前を聞いたり答えたり, 好きな野菜嫌いな野菜を言ったりして, コミュニケーションを楽しもうとしている。 (コ・行動観察)	野菜カード (5 班分)
Writing (5)	6 アルファベットシートで書く。 ・e, f を書く。	・ALTの発音を復唱させながら書かせる。	アルファベットシート
Reflection (5)	7 振り返りを行う。 ・好きな野菜を聞き, 答えることができるようにする。	・ALT, HRTと児童がワン・バイ・ワンで行う。	英語罫黒板

(2) 仮説の検証 (考察)

【成果】

- アクティビティのいくつかのパターンをしっかり理解し, 自主的に意欲的に活動できていた。
- どの児童にもアクティビティで単語, センテンスの練習する機会が用意でき, 授業の終わりにはワン・バイ・ワンでの振り返りの時間があつたことで英語が身に付きやすく使いやすくなつていた。

【課題】

- 複数のセンテンスを使つての会話は, 低学年には少し厳しい。どこまで求めたらよいのだろうか。
- 英字の練習は授業の流れを切りやすく, 別枠での取り組みを考えたほうがよいのではないかな。

3 学年「月・曜日・日にち・フォトフォニックス」

(1) 研究の実際

①本時の目標

積極的に誕生日を伝え合おうとし、コミュニケーションを楽しもうとする。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

②本時の展開

過程 (時配)	主な活動	・指導・支援●ALT ○評価	資料
Greeting (5)	1 挨拶をする。 ・挨拶, 天気, 日付, 曜日を確認する。	●HRTとともにあいさつする。 ・emotions は自由に相手を見つけ伝え合う。5名の友達と交流したら着席する。	
Review (10)	2 フラッシュカードを用いて日付を復習する。 ・前時の復習 1st ~ 20th ・本時の練習 21st ~ 31st	・全体, グループ, 個人と形態を変えて発話させる。 ●児童と一緒に発話し, 支援する。 ・難しい発音の場合は, ALTの発話を繰り返しリピートさせる。	フラッシュカード
Practice1	3 本時の学習課題をつかむ。 誕生日を伝え合おう。 ・HRTとALTのデモンストレーションを見て, 状況をつかむ。 When is your birthday? My birthday is __.	・ALTとデモンストレーションする。 ●HRTとデモンストレーションする。	
Practice2 (10)	4 誕生日をたずねたり, 答えたりする言い方を確認する。 When is your birthday? My birthday is __.	・誕生日で立たせて, それぞれの誕生日を確認する。 ・ペアまたは指導者&児童で一連の発話を練習する。	メトロレーニング
Activity (10)	5 アクティビティ: Birthday Bingo を行う。	○ゲームを通し, 積極的に誕生日についてたずねたり, 伝え合ったりしている。 (コ・行動観察)	
Reflection (5)	6 ふり返しを行う。 ・本時の学習で気が付いたことや考えたことを, リフレクションシートに記入する。	○リフレクションシートに本時の取組についての感想をかかせる。 (コ・リフレクションシート点検)	リフレクションシート

(2) 仮説の検証 (考察)

【成果】

○様々な学習形態が仕組まれていた。英語活動にとっても意欲的に取り組むとともに, 普段から英語に親しんでいることがうかがえる。

○適切なクラスルームイングリッシュであった。emotionで, 多様な表現が行われ, ジェスチャーが活発であった。

【課題】

●難しい学習内容であった。When is your birthday?を学んですぐ使うのは困難。実態にあった指導計画を作成することが大切である。

4 学年「学校の教科・フォニックス」

(1) 研究の実際

①本時の目標

積極的に時間割を言おうとし、コミュニケーションを楽しもうとする。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

②本時の展開

過程 (時配)	主な活動	・指導・支援●ALT ○評価	資料
Greeting (5)	1 挨拶をする。 ・挨拶, 天気, 日付, 曜日, 時間を確認する。How are you?	・天気や日付等は, 全体で確認を行い, 自信をもって言えるようにする。 ●HRTと共にあいさつをする。	ホワイトボード
Listening (5)	2 フォトフォニックスに出てくる絵と音を知る。	・出てくる単語を確認する。 ●口の形をデモンストレーションする。	メトロラーニング
Review (5)	3 フラッシュカードを用いて復習をする。 ・I study (教科) .	・前時までに学習した英語での表現を確認する。 ・繰り返し練習する。	カード メトロラーニング
Today's goal	4 本時の学習課題をつかむ。  教科の言い方を知り, 習っている教科を言おう。		
Practice 1 (10)	5 新しく学ぶ教科名の言い方を練習し, 文を練習する。 ・I study (教科) (教科) and (教科) today.	・今日の表現を確認し, 「and」は最後の単語の前に置くことを教える。 ・列ごとや隣同士で練習する。 ●新しい単語の正しい発音を紹介する。	フラッシュカード
Practice 2 (10)	6 今日の時間割表をいう。 ・I study (教科) (教科) (教科) (教科) (教科) and (教科) today.	・教師が今日の時間割を一緒に確認し, 文を一緒につくる。 ・リズムに合わせて繰り返し発話練習。	フラッシュカード
Activity (8)	7 アクティビティじゃんけんゲーム ①出会った児童とじゃんけんをし, 勝った児童が曜日選ぶ。 ②負けた児童は指定の曜日の時間割をいう。 ③また, 交換し言う。 「I study (教科) (教科) and (教科) today .」	・活動の仕方を説明する。 ●HRTと一緒にデモンストレーションする。 ○ゲームを通し, 教科の名前に興味を持ち, 進んで発音したり, 聞き取ったりしている。(コ・行動観察) ・時間割を二つ用意し, 後半レベルをあげ活動をする。	フラッシュカード 拡大した時間割表
Reflection (2)	8 ふり返りを行い終わりの挨拶をする。	・ふり返りをし, 記入させる。 (コ・リフレクションシート点検)	リフレクションシート

(2) 仮説の検証 (考察)

【成果】

○日頃からクラスの中に英語環境をつくっておくことで英語を使おうとする意欲が向上していた。

○ALTと上手く連携し, 良い発音をたくさん聞かせる活動をすることができた。

【課題】

●英語力をつけるために色々な方法で練習し, アクティビティの時間を充実させることが大切だ。

●英語を話したい, 使いたいという必然性の気持ちをつくっていけるようなしかけをしていくこと。

5 学年「単元名」

(1) 研究の実際

①本時の目標

できるかどうかを積極的に尋ねたり，答えたりして先生や友達とコミュニケーションを楽しんでいる。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

②本時の展開

過程 (時配)	主な活動	・指導・支援●ALT ○評価	資料
Greeting (7)	1 あいさつをする。 ・あいさつ，天気，日付，曜日を確認する。	・お互いと言っているかの確認をする。 ●ペア学習の際は，発音できているか机間巡視をする。	
Review (5)	2 フラッシュカード，メトロラーニングを用いて復習をする。	・全体で確認後，担任とALTで個別確認を行う。	メトロラーニング
Today's goal (3)	3 本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">できること，できないことを聞いて，マイチームを作ろう。</div>		
Practice (7)	4 拡大したプリントを用いたHRTとALTのデモンストレーションを見て，状況をつかむ。 ・ペアで練習を行う。	・児童対児童のQ&A形式で，言い方を確認する。 ●HRTの発音を確認し，必要に応じて正しい発音を紹介する。	メトロラーニング
Activity (15)	5 アクティビティ 「Let's Make a team!」を行う。 ・お互いに質問し，回答はプリントに沿って回答する。 A : Can you (動作) ? B : Yes, I can. I can (動作). OR B : No, I can't. I can't (動作) 答えが「Yes」ならば，「What's your name?」と聴き，相手の名前を書く。 答えが「No」ならば，「Thank you.」 ・より多くのチームを作ることを目標にする。	●HRTと一緒にデモンストレーションする。 ○なるべく多くの人の名前が書けるように指導する。 ○Yes, Noの返事をもらえたらリアクションするように指導する。 ○1チーム完成したら，担任かALTのところへ行き，確認をもらうよう指導する。 ○ゲームを通し，できるかどうかを積極的に尋ねたり，答えたりしている。 (コ・行動観察)	
Writing (4)	6 フォトフォニックスの単語を書く。	・書いた後に，ALTの発音を復唱させる。	
Reflection (4)	7 ふり返りを行う。	・本時のめあてとReflectionポイントを確認しながらふり返らせる。	ノート

(2) 仮説の検証 (考察)

【成果】

- 児童の実態を生かした，テンポのよい授業を展開することができた。
- 導入時，既習事項が書かれた掲示物を活用しており，積み重ねとなって児童の力になっている。

【課題】

- 単元の最後は自分自身のことを伝えられるようにしたほうが良い。
- 現実に即した，これを使って実際に何かするというTaskの要素を取り入れた方がよい。



## 6 学年「道案内をしよう・フォニックス」

### (1) 研究の実際

#### ①本時の目標

積極的に施設やお店の場所を尋ねようとし、コミュニケーションを楽しもうとする。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

#### ②本時の展開

過程 (時配)	主な活動	・指導・支援●ALT ○評価	資料
Greeting (5)	1 あいさつをする。 ・あいさつ, 天気, 日付, 曜日を確認する。	・天気や日付等は, 全体で確認を行い, 自信を持って言えるようにする。 ●HRTと共にあいさつをする。	
Review (5)	2 メトロラーニングを用いて復習をする。 ・フォニックス「l, s, f, h」	・メトロラーニングの発音を復唱させる。 ●モニターの脇で口の形をデモンストレーションする。	メトロラーニング
Writing (5)	3 フォトフォニックスの単語を書く。 ・フォトフォニックス「not, pen」	・メトロラーニングの発音を復唱させながら書かせる。 ●児童が正しく書けているか確認する。	メトロラーニング
Today's goal (5)	4 本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">施設やお店がどこにあるかたずねよう。</div> ・HRTとALTのデモンストレーションを見て, 状況をつかむ。 Where is the ~? Here it is!		
Practice (5)	5 拡大した地図とフラッシュカードを用いて施設やお店の言い方を確認する。	・ALTとデモンストレーションする。 ●HRTとデモンストレーションする。	拡大した地図 フラッシュカード
Activity (15)	6 アクティビティ: Follow me!を行う。	○ゲームを通し, 積極的に施設やお店の場所を訪ねようとしたり, 案内しようとしたりする。(コ・行動観察)	場所・施設のカード
Reflection (5)	7 ふり返りを行う。 ・本時の学習で気が付いたことや考えたことを, リフレクションシートに記入する。	・本時のめあてと Reflection ポイントを確認しながら復習する。 ○リフレクションシートに本時の取組についての感想をかかせる。 (コ・ノート点検)	リフレクションシート

### (2) 仮説の検証 (考察)

#### 【成果】

○手作りのフラッシュカードは, その後に使う教材と関連させてこだわっているところがよかった。

○笑顔の児童を模範に活用したことで, 授業に活気が生まれた。

#### 【課題】

●新出単語の練習など, 発音に関わる場所ではもっとALTに任せてよかった。

●毎回できない子が際立つことがないように, 個別評定を座らせて行うなどの工夫があるとよい。

## 7 研究のまとめ

### (1) 研究の成果

- 年間計画における各単元のねらいが明確になったことで、どの学年でどの程度の指導をして、どんなことを評価したら良いかが明確になった。
- 毎週確実に実施したことで、児童が英語に慣れ、理解力や表現力が高まり、学習意欲が向上した。
- ALTと担任の事前の打ち合わせを確実にしたため、授業中の担任の指示とALTの動きの連携がよくとれていて、学習の流れがよかった。
- 子供たちが楽しんでいて、身体表現、ジェスチャー、フラッシュカードの変化のある使い方、ゲームの工夫がよかった。HRTとALTやJTEとの連携がうまくいっている。
- クラスルームイングリッシュが学年相応に適切に使われていた。どの学年もHRTが主導していて、英語で話そうとする意欲への範となっていた。
- 授業に必要な教材、教具を手作りし英語の学習環境を工夫したため、学習の進め方がスムーズになり児童の学習意欲が高まった。
- アンケートの変化から、成果が出ていることがわかる。身の回りの英語に気付いたと答える児童が増えてきた。また、楽しんで英語に取り組める児童が増えてきた。
- どの学年も「書く」指導を確実に行うことができた。
- フォトフォニックスに毎時取り組むことにより、アルファベットの発音と単語の構成について理解を深めることができた。

### (2) 今後の課題

- 指導計画を作成するにあたって、単元のゴールを見通して、児童が意欲をもてる必然性のあるシチュエーションを工夫して、設定していく必要がある。
- 一つの場面での繰り返しの練習色の強い授業にならないように、様々な場面を設定して単元の目標を達成する工夫をしていく必要がある。
- ALTのネイティブの発音を聞かせる場面や児童の発音を確認する場面等、担任とALTの役割分担やALTの活用について工夫が必要である。
- 単元の最終時は、振り返りの時間を大切にする。本当に自分自身のことを伝えるように、発表場面等で工夫していく必要がある。
- 書くことに関しては、授業の流れを考慮して工夫していくとともに、書くことが難しいと感じられる児童への手立ても工夫していく必要がある。
- 低位な子がスムーズに参加できるようにするための工夫が必要である。